

平成 31 年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高校音楽 I 改訂版 Music View (教育出版株式会社)						
副教材等	The Basics of Music 2 訂版 (教芸音楽研究ループ)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・歌唱や楽器の演奏などの表現活動を通じて、「表現する力」を養います。
- ・世界の様々な音楽や仲間の演奏を鑑賞する活動を通じて、幅広い教養を身に付けるとともに、「他者を認める心」を養います。
- ・仲間とともに課題に取り組むグループ活動も行い、「協働する力」を養います。
- ・楽譜が読めなくても授業で困ることはありませんが、諸活動に主体的に参加する姿勢が肝要です。
- ・授業では楽譜やプリントを配布します。それらをきちんと整理できるように、音楽の授業用のファイルを 1 つ用意してください。
- ・音楽選択生が出演する「音楽会」は、必ず出演してください。
- ・実技試験は、クラスメートの前で演奏することもあります。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	様々な歌を歌おう	【歌唱】 校歌 世界に一つだけの花 Caro mio ben 第9	○	○	○		a: 恥ずかしがらずに声を出し、発声および楽曲の歌唱に主体的に取り組もうとしている。 b: 歌詞の内容を理解し、曲想を感受したうえで、表現意図をもっている。 c: 歌唱で表現するための発声の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	プロの演奏を聴いてみよう	【鑑賞】 Caro mio ben 第9	○			○	a: 歌手による表現方法の違いや管弦楽の演奏に関心をもち、主体的に鑑賞活動に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素や歌手による表現方法の違いを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じて、よさや美しさを創造的に味わいながら聴いている。	観察 ワークシート
	ギターを演奏しよう	【器楽】 ちょうちょう 春の小川 コード	○		○		a: クラシックギターの基本的な奏法に関心をもち、その演奏に主体的に取り組もうとしている。 c: タブ譜を読譜し、表現するための技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
2学期	音楽会に向けて歌おう	【歌唱】 第9 クラス合唱曲	○	○	○		a: 第9のドイツ語の発音や歌詞の意味に関心をもち、演奏しようとしている。クラスでの取り組みに主体的に参加しようとしている。 b: 各曲の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感受し、歌い方についての表現意図をもっている。 c: 歌詞の内容や曲想からイメージを抱いたうえで、それを表現する技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

